

ふれあいトーク記録書 （市議会サポーターとの意見交換会）

- 開催日時： 令和 4年 4月 20日(水) 午後7時 00分 ～ 午後 8時 20分
- 場 所： 市役所7階 第2・第3委員会室
- 参加人数： 12人（サポーター:3名、議員:9名）
- 式次第： 1. 開会あいさつ（議長あいさつ）
 2. 意見交換会
 (1) 令和3年度12月及び令和4年3月定例会を終えての感想、質問等について
 (2) 議会基本条例の検証・評価について
 (3) フリートーク
 3. 閉会あいさつ（副議長あいさつ）

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
議会のコロナ対策	コロナ対策で民間飲食店には衝立の設置を指導している中で、範を示す立場の議場に衝立が無いが議会の考えは。	換気対策は行ってきたが、衝立の議論はしてこなかった。予算の問題もあるが議会で今後の課題としたい。
桜まつり・市の活性化	コロナ終息後の桜まつりのステップアップ（埋蔵文化財の展示・ドローンによる上空からの撮影等の問題）せっかくの素材を有効的に活用すべきではないか。3年間桜まつりが中止されたことをチャンスととらえて考えるよい機会ではないか。屋台のあり方等も含	桜まつりの内容は商工会を中心とした実行委員会において決定している。議会内でもこの機会をよい機会ととらえて前向きな意見を提案していきたい。 旧来の伝統を残しつつ新しいものにチャレンジすることも大切であると思う。下流域の桜は平成元年に植えられ、鮮

	<p>め、桜まつり（市内の活性化）を通じていかに稼ぐかを考えるべきではないか。（地元で運営するキッチンカーなど）</p>	<p>やかな花を咲かせている。川幅も広いことから船を浮かべたり、市の管理下でバーベキュー場の運営など積極的な提案を行っていききたい。</p> <p>来年の大河ドラマ「どうする家康」を受けて、県主導の協議会も立ち上がる中で、誘致・誘客につなげられる提案をしていききたい。</p> <p>楽器資料館を前面に出した発信を考えたい。</p> <p>50周年記念事業の一環で五条川を中心に市民参加のビデオを作製した。これが県から表彰された。</p>
子育て支援	<p>子育て世代への支援や市の魅力発信のために、松本市も行っているおもちゃ図書館を導入してはどうか。</p> <p>「母になるなら流山」子育て世代の定住化を考えていただきたい。</p>	<p>子育て支援センターではおもちゃなどの物々交換を行っている。家庭ではひな人形などの再利用が課題としてある。次につなげるための提案としてありがたい。</p> <p>コロナで休止中であるが社会福祉協議会が行っている。松本市の事例も含め運用方法の研究は進めていきたい。</p> <p>岩倉駅に隣接している「保育園送迎ステーション」は流山に倣って設置されたもの。子育てしやすいまちを目指す岩倉市の取組の一つ。</p>
交通対策	<p>巡回バスを運営できないか。</p>	<p>前市長がデマンド型乗合タクシー「い〜わ号」2台を導入したが、予約時間が集中するため使い勝手が悪かった。現在は、「ふれあいタクシー」をタクシー会社3社と提携して市内均一料金（2区制）で運用し、広く利用されている。</p>

		<p>時間が定められ、予約も必要としない巡回バスのほうが乗りやすいとのご意見も聞く。予算のこともあるが検討しなければならない。</p> <p>岩倉市は市域が狭く(中心市街地では)地価が高い。高齢化に伴って「移動権」を保証するためにデマンド交通を導入した経緯もある。交通空白地である市の南西部(川井・野寄地区)において県が行う工業団地と合わせて財政的な観点も踏まえて考えなければならない。</p>
議会運営	<p>施策実現のためには会派間のコンセンサスを取ってオール議会で取り組んでいただきたい。</p>	<p>委員会による政策提言や委員会代表質問を行うために会派の枠を超えた積極的な議論に取り組んでいる。</p>
生活保護	<p>多くは国からの財源で維持されているものの、市の負担もある。市として積極的な財源確保策を考えることで、生活困窮者にも手を差し伸べられるのではないかと懸念していたが、国による「住宅確保給付金」「子育て世帯応援補助金」等により生活保護世帯の増加は抑制されている。制度そのものは適正に運用されている。(国が3/4、自治体が1/4負担)</p> <p>生活困窮者より生活保護世帯のほうが優遇されている現実もある。議会として高所大所に立った議論を心がけていく。</p>	

<p>議会基本条例 例検証</p>	<p>PDCA サイクルに乗せて検証してゆくことは民間でも行っているが、大きなエネルギーが必要である。議会自らが継続的に検証を行っていること自体に意義があると感じている。</p> <p>この場に参加するにあたって自ら情報と考えをまとめ参加している。執行機関のように有償で検証を行うことで、自由な意見が言いにくくなることも考えられる。有償が一概にいいとは考えていない。</p> <p>若い世代の意見を取り込む工夫もしてもらいたい。</p>	<p>議会基本条例に基づき1年に1度自己評価ではあるが、検証を行い次年度に向けて課題の抽出に心がけている。</p> <p>議会外の立場でご意見・ご質問があればありがたい。執行機関は附属機関として検証委員会がある。議会においてのサポーター制度は応援団的な要素が強い。率直な意見をいただきたい。</p> <p>議会が透明性や公平性を確保するために何が必要か、傍聴意欲を高めるために何が必要かについてのご意見をいただきたい。(お願い)</p>
<p>フリートーク</p>	<p>スマートインターチェンジと工業団地に向けて民間業者による周辺の土地の買収が行われているが、問題はないのか。</p> <p>介護保険の利用時に食事代がかかるようになったがなぜか。</p>	<p>インターから1キロ以内であれば、先端産業・物流に限って開発を行うことができる。1キロ圏外であっても今回の工業団地のように県が都市計画決定を行った場合など例外的に開発を行うことができる。</p> <p>雇用や税収増など、ここでの成功事例が市内北部地域への波及するものと考えられる。</p> <p>一宮インター付近の渋滞緩和を含め、スマートインターチェンジに期待されるもの大きい。</p> <p>3年ごとの保険料見直しの際に全国一律で変更となった。</p> <p>※介護保険における食費は以前から利用者負担があったが、法改正により昨年8月から負担が上がった。</p>

	<p>市内に特定の宗教団体が移転してきたが大丈夫か。</p>	<p>公安調査庁の監視下であり、立ち入り調査の結果も公表され、市に対して報告も受けている。現状では問題がないと判断される。</p>
	<p>子どもに対するコロナワクチン接種に対する情報が少なく混乱を招いている。</p>	<p>おっしゃる通りであるが、接種自体は全額国が負担した国の事業である。 担当職員も接種券の発送時に国が作成した文書を同封するなど丁寧な対応に心がけている。 市外の方から、メリット・デメリットを情報提供していただきたい旨の請願が出された。自治体ごとで情報の出し方が違い5歳から11歳の接種率に開きがある。 保護者の不安を払拭するためにも正確な情報提供を求めている。 岩倉市子ども条例により、子どもの権利が保障されている岩倉市だからこそ子どもに対しても情報を出すべきと考える。</p>
	<p>予算や決算の議会の時、積算根拠となる内訳書がサポーターに配られていない。詳細を知るためにも必要とを感じるがどうか。</p>	<p>参考資料であり膨大な量でもあるため控えている。ご意見をを受けて議会として検討していきたい。</p>